

講義名称	身体表現Ⅱ	担当教員名	清水 洋生
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の表現技術 (ET) 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMET2335

授業のキーワード	身体 グループワーク 創造性 作品づくり 複合表現
授業の概要	身体表現Ⅰで学んだ内容を踏まえつつ、保育所や幼稚園をはじめとする各種の施設で実践可能な表現活動をグループワークを通し学びます。また、作品づくり・発表を行います。
期待される学習成果 (目標)	作品づくりを通し様々な表現の可能性や方法について経験できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績評価の方法、受講上の注意事項、質疑応答
2	表現活動に向けて(1)	ブレインストーミング、グループ作り。
3	表現活動に向けて(2)	ブレインストーミング、グループ作り、方向性/題材/テーマの決定。
4	創作活動(1)	グループごとに表現活動の中心場面や動きを設定して行きます。
5	創作活動(2)	グループごとに表現活動の中心場面や動きを設定し、シーンや流れを構成して行きます。
6	創作活動(3)	シーンや流れを作り、全体の構成をイメージして行きます。
7	創作活動(4)	イメージを膨らませながら創作を行って行きます。
8	創作活動(5)	これまでの創作を振り返り、中間発表を行います。
9	作品づくり(1)	これまでの創作を更に工夫を凝らし、作品へとつなげていきます。
10	作品づくり(2)	これまでの創作を更に工夫を凝らし、作品へとつなげていきます。
11	作品づくり(3)	これまでの創作を更に工夫を凝らし、作品へとつなげていきます。
12	プレ発表	各グループの実践をプレ発表します。
13	プレ発表の振り返り	各グループで記録 (映像資料) を作成します。
14	発表	各グループで記録 (映像資料) を作成します。
15	振り返り	記録 (映像資料) の提出、グループによる振り返り。

定 期 試 験	定期試験は実施しない
授 業 時 間 外 学 習	授業の最後に次回のテーマと内容、準備学習について伝える。
評 価 方 法	実技 (70%)、授業への取組 (30%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	なし
参 考 文 献	なし